

2017年 新年社長挨拶

2017年1月4日

株式会社クラレ

代表取締役社長 伊藤 正明

私はクラレをこんな会社になりたいということを、これまで色々な場で繰り返して、話をしてきました。皆さんも既に何度か聞いていると思いますが、この考えは大変大事ですので、今年も最初に触れておきます。

3つのポイントがあります。1番目は「安心して働ける会社、事故や災害が起こらない安全な会社」にしたいということです。「安全はすべての礎」ということを常に意識して仕事に取り組んでください。

2番目はクラレグループで働く社員が、「そこで働くことに誇りを持てる会社」にしたいということです。高い倫理観と「思い」を持って仕事に取り組み、クラレグループがより良い会社として発展していくように貢献してほしいと思います。もし間違ったことを見つけたら、内部通報制度も使って指摘していただきたい。

3番目は「独自の技術をベースにして持続的に発展していく会社」にしたいということです。独自の技術をベースにして、強いコア事業は更に強く大きくするとともに、成長を期待する事業は新しいプラントによる規模拡大や、新技術・新商品による一層の収益拡大を計り、今後も成長を続けていく会社でありたいと考えます。

以上の3点は、クラレグループの皆さんに本当に浸透したと思えるまで、言い続けますので、ご容赦ください。

今申し上げたことを会社としてどう実行していくかを述べたのが、一昨年まとめた企業ステートメントです。このステートメントは我々が事業を進める際の心の拠り所とし、進むべき道に迷ったならば元に立ち返って、改めて進路を取り直す羅針盤として、尊重し活用するにしたいと思います。世界中のクラレグループ社員がその理念と価値観を共有し、その行動原則に沿って仕事に従事し、我々の使命を追求するための推進力としていただきたい。ステートメントの考え方をベースにしつつ、各会社がそれぞれの分野・地域で自主性を発揮し、会社ごとの運営を積極的かつ円滑に進めていくことができれば、更に素晴らしいクラレグループになっていくものと考えます。

昨年は心配されたリオ・オリンピック、パラリンピックは無事に開催され安堵しましたが、一方で英国がEUから離脱することを決め、またアメリカでは共和党のトランプ氏が次期大統領に決まるなど、国民の投票による新たな進路決定がなされ、本当にビックリした年でもありました。

さて、本年2017年はトランプ新大統領の打ち出す政策への期待と不安が入り混

じる中、フランス大統領選挙、ドイツ連邦議会選挙、韓国の大統領問題など各国でも政治的なイベントが多く、これらに敏感に反応して金融市場が不安定化する恐れがあります。また世界経済が全般に力強さを欠く緩慢な拡大にとどまる中、保護主義の台頭による貿易の低迷、中国経済の下押しリスクに加え、OPECの減産合意がどのように影響を及ぼすのか、慎重に見ていかねばならないと思います。更に難民流入とテロの発生、これらによる治安の悪化など、心配し始めるとタネは尽きることがありません。

このような中、2017年は中期経営計画GS-STEPの最終年度であるとともに、次期中期経営計画を策定する年となります。更に本年はクラレケミカルの皆さんをクラレの炭素材料事業部として迎え入れ、新たなクラレとして出発する年でもあります。

それぞれがGS-STEPで計画した施策を振り返り、やり残した課題や修正すべき課題があれば早急に必要な行動に着手して、本年度中に具体的に見える成果に繋げていただきたいと思います。色々な困難、課題に直面することと思いますが、自分たちのやるべき仕事と克服すべき課題にしっかり取り組んで、次なるステップに向けて着実な一歩を踏み出しましょう！

以上